

はなさと だんざり

第207号
2023/02/01

一月の行事

一月吉日、はなさとでは利用者さんと正月遊びのカルタや福笑いをし、みんなで初笑いしました。

「笑う門には福来る」というのは、お正月に福笑いで遊ぶ様子から生まれたと言われています。「福」は幸せ・幸福、「来る」はこちらにやってくるという意味です。そのため「福来る」とは「幸せがやってくる」という意味になります。これらの語を合わせる事で「笑いの絶えない人やその家族には、自然と幸福が訪れる」という意味になるそうです。新年から笑顔があふれているところにはいい事がやってくるそうですね。



新しいメンバー紹介

介護福祉士 戸市 晴美



1月よりはなさとで介護福祉士として働かせていただくことになりました。戸市晴美と申します。よろしくお願ひ致します。前職は下呂市で介護支援専門員をしており、利用者様が在宅での生活を継続できるように支援してきました。今後は直接的なサポートと

医療職の方々から多くのことを学びたいと思うようになりました。老健で働いた経験はありますが、久しぶりの現場ということで緊張を感じつつ楽しみでもあります。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

介護福祉士 小峠 貴博



回復期リハビリ病棟から異動してきました介護福祉士の小峠貴博です。今まで病院や特別養護老人ホームでの勤務経験はありますが、老人保健施設で働くのは初めてです。今までの介護現場での経験を活かし、多職種と連携する中で、在宅復帰に向けた自立支援のサポートができればと考えています。異動して間もないため、毎日の

業務に追われる毎日ですが、少しでも早く業務を覚え、一人のスタッフとして現場での戦力になりたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

看護師 小池 久美子



地域包括ケア病棟より産休・育休を経てはなさとに異動となりました。看護師の小池久美子です。利用者様の生活の場となるはなさとで、よい生活環境となるよう多職種との連携を大事にしていきたいと思ひます。分らない事はかりですが、皆さんに助けていただきながら少しでも力になれるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

お世話になりました

介護福祉士 森下 友香里



2月より病院の回復期リハビリ病棟に異動になりました。はなさとでは7年近くお世話になりました。専門学校を卒業し、はなさとで働かせていただき、たくさんのお話を学ばせていただきました。職員の皆様、利用者さんに何度も助けていただき、今日まで頑張ってきました。働くことができました。はなさとを離れるのはすごくさみしいですが、病院でも頑張りたいと思ひます。本当にありがとうございました。

